

取扱説明書

発行年月日 06年11月30日

品名 F-3CB , F-4CB , F-5CB , F-7CB

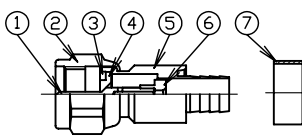
図番 0042K-01B CAD PC-01/D/0001 F/0042

No. 加工工程 使用工具、説明、備考

① 使用工具の準備

ナイフ
ペンチ
ニッパ
スケール
圧着工具：KCT-57
 又はMC-26

使用コネクタ	使用ケーブル
F-3CB	3C-2V 3C-2W
F-4CB	4C-FB BSCX TVEFCX
F-5CB	5C-FB
F-7CB	7C-FB

使用コネクタ絵図 

部番	名称	個数	材質	処理
7	圧着リング	1	C3604BD	ニッケルメッキ
6	絶縁物C	1	PA66	----
5	本体	1	C3604BD	ニッケルメッキ
4	絶縁物	1	PA66	----
3	圧入リング	1	C3604BD	ニッケルメッキ
2	接続ナット	1	C3602BD	ニッケルメッキ
1	中心コンタクト	1	C3604BD	金メッキ

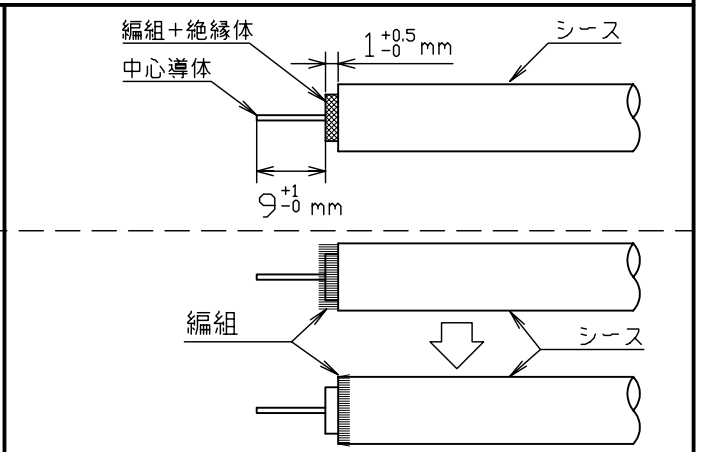
② ケーブル端末加工

1. 右記、寸法になる様ナイフで端末加工します。
2. スケールで寸法確認します。

注意：中心導体、編組(外部導体)に傷をつけない様にして下さい。
中心導体が10mm以上の場合はニッパで切して下さい。

3. 切り取った後、編組をほぐします。
4. 編組をシースの上に折り返します。

注意：ケーブルの端面に切り屑が残らない様にして下さい。



③ ケーブル取付

1. 圧着リングをケーブルに通します。

2. 絶縁物Cに中心コンタクトをケーブルに押し当て確認しケーブルの端面A部まで挿入します。

3. 挿入後、中心コンタクトの太い部分を圧着工具の2,3部でカシメます。

※ 中心コンタクトをケーブルに押し当て、出来るだけ絶縁物Cの近くでカシメてください。

注意：圧着後、中心コンタクトが抜けないう確認して下さい。

4. コネクタ(本体)をケーブルに挿入して下さい。

注意：ケーブルの絶縁体にアルミ箔が付いている場合はアルミ箔部分を本体の内側に入れ、編組とシースが外側になります。

5. 圧着リングを本体の端面Bまで戻し、編組は圧着リングの内側に入れた後、工具(ペンチ)でリングをつぶし圧着させ完成です。

※ F-5CBは圧着工具の5C部を使用するとミスが無く簡単に圧着出来ます。

